

太陽光発電システム

面積(m²あたり)でもシステム容量(kWあたり)でも
発電量トップクラス。

※1. 国内の住宅用太陽光発電システム業界において、当社調べ、太陽光発電システム容量1kWあたり1年の年間推定発電量1158kWh/kW【大阪市、パワーコンディショナ：VBPC225A4-95% (330V時)の場合】2013年6月現在、一般社団法人太陽光発電協会基準「年間推定発電量計算式」に基づく。



HIT240α/245α
HITハーフタイプ120α
新登場!

* HITはパナソニックグループの登録商標であり、オリジナル技術です。
● 写真は「野地」タイプ)の設置イメージです。

モジュール出力
20年保証開始

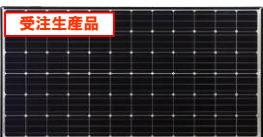
太陽電池モジュールの出力がJIS C 8918の6.1(性能)に示された公称最大出力に対して、10年で81%未満、または20年で72%未満となった場合、お手続きを行っていただきます。



HIT240^{アルファ}α (VBHN240SJ21)

※2. 公称最大出力 240W

※3. モジュール変換効率 18.7%



HIT245^{アルファ}α (VBHN245SJ21)

※2. 公称最大出力 245W

※3. モジュール変換効率 19.1%



HITハーフタイプ120^{アルファ}α (VBHN120SJ21)

※2. 公称最大出力 120W

※3. モジュール変換効率 18.1%

※2. JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値
※3. 太陽電池モジュール変換効率モジュール公称最大出力W×100モジュール面積m²×1,000W/m²

●単結晶系ハイブリッド型 HIT太陽電池モジュール の特長

限られた屋根面積でも
たっぷり発電。



同じ約36m²(約11坪)の屋根の場合

HIT240αなら
1 年間5,674kWh発電 ※4 ※6

2 当社従来品(多結晶154シリーズ*)なら
年間4,037kWh発電 ※5 ※6

*多結晶154シリーズは2013年1月31日受注終了品です。

モジュール枚数を減らせて
家への負担を軽減!



同じ約4.8kWのシステムの場合

HIT240αなら
1 20枚で約432kg
アンカーH方式(150mm)横置/和瓦

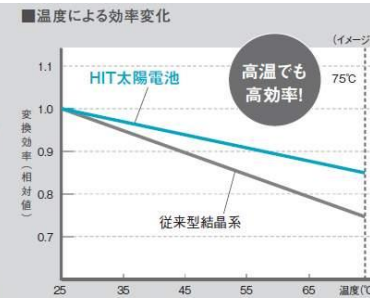
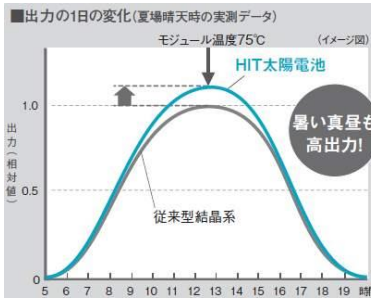
2 31枚で約642kg
アンカー方式(130mm)横置/和瓦

※4. 大塚地区、真南、傾斜30度、HIT240α4.8kWシステムの場合。
※5. 大塚地区、真南、傾斜30度、多結晶154シリーズ3.696kWシステムの場合。
※6. 年間推定発電量は、各システムの容量、地域別日照条件、システムの各損失を考慮して、当社発電シミュレーションにより算出された値であり、保証値ではありません。

ウォータードレインコーナーで
汚れがたまりにくい



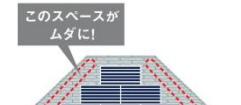
●HITなら夏の暑さにも負けず、1年中しっかり発電!



【出力の1日の変化の試験条件】○神戸市 2007年7月24日 南向き 傾斜30度 ○同じシステム容量にて比較 ○試験実施機関:パナソニック株式会社
【温度による効率変化について】このグラフは25℃の時の変換効率を1.0とした時の温度による効率変化を表したものです。○試験実施機関:パナソニック株式会社

●HITハーフタイプの特長

■「HIT240α/245α」のみ



■「HITハーフタイプ120α」をプラス



屋根スペースを無駄なく活用